



クラス一丸となり対抗リレー 5・6年生の町学童クロカンスキー教室

黒姫高原童話の森スノーウェブで2月7日、信濃小中学校5・6年生による「町学童クロスカントリースキー教室」が行われました。午前はそれぞれの体力・技術に応じた距離での記録会が行われ、午後はクラス対抗リレーで、児童たちが歯を食いしばってがんばる姿、一生懸命応援する姿と、クラスが一丸となって頑張っていました。

保育園年長児の1日体験入学

1年生が年長さんに学校生活を紹介

町内4つの保育園の年長さんが2月4日、信濃小中学校で1日入学体験を行いました。園児たちが到着すると、1年生の代表が玄関でお出迎えして、体育館まで誘導しました。体育館では、1年生全員で学校の勉強や生活を紹介します。その後、名札を一人ひとりにかけてあげて、フラフープやボール遊びなどを一緒に楽しみ、続くジャンケンゲームでは、1年生も年長さんもみんなで体育館内をはしゃぎまわりました。最後に、年長さんは1年生からプレゼントをもらい、喜んでいました。



全国の舞台上で健闘

全中スキー大会で町選手4名が活躍

2月2日から5日の4日間、群馬県で第51回全国中学生スキー大会が開催されました。信濃小中学校からは、アルペン競技に高田晟太郎さん(9年生)、雲野チエルシーさん(8年生)、若月新さん(8年生)、クロスカントリー競技に外谷涼太さん(8年生)の4名が、長野県選手団の一員として出場しました。アルペン競技では、若月新さんが女子回転4位、女子大回転7位で入賞したのをはじめ、それぞれが、全国の舞台上で健闘を見せました。(写真:若月新さんが4位で表彰)

元気いっぱいの豆まきで福がくる

野尻保育園で節分の豆まき

節分の豆まきが2月3日、町内各保育園で行われました。野尻保育園を訪れると、子どもたちは、始めに先生から節分について教わり、年の数の豆を食べました。その後、鬼グループと豆まきグループに分かれ、「おには～そと！」手作りのお面をかぶったかわいい鬼たちに元気よく豆をまいて、園庭に鬼を追い払いました。元気いっぱいの豆まきで保育園に福を呼びこびました。



学校PRと町の文化振興に貢献

東京音大の学生がPRビデオのBGM提供

東京音楽大学で2月12日、BGMを提供いただいた学生、岩城直也さん(写真:一番右)らに感謝状を贈りました。信濃小中学校のPRビデオへ同大の作曲コースの学生に音楽を付けていただきました。同大はこれまでもNHK大河ドラマの音楽を手掛ける作曲家を輩出するなどしています。今回選ばれた岩城直也さんも今後のご活躍が期待されます。(動画は「信濃小中学校探訪」と検索してください)

華麗な和太鼓演奏が黒姫を飾る

黒姫高原スノーフェスティバル

黒姫高原スノーパークで2月8日、「黒姫高原スノーフェスティバル(レレヒ前夜祭)」が開催されました。黒姫スキー学校インストラクターによるたいまつ滑走、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会、「童話の森イリュージョン」と題した花火などが行われ、中でも和太鼓奏者郷戸了氏による黒姫スペシャルが華麗に演奏され、会場が大いに盛り上がりました。信濃町観光PRキャラクター「一茶さん」と黒姫高原スノーパークのキャラクター「コスモツクル」も登場し、町内外から集まった多くの方々を楽しませていました。



吹雪の中、迫力ある滑降

第60回レレヒ記念杯スキー大会

黒姫高原スノーパークで2月9日、第60回レレヒ記念杯スキー大会が開催されました。小学生からシニアまで、全国から175人の選手が集まり、部門別大回転種目に挑みました。あいにくの吹雪の中での大会でしたが、選手たちは勢いよく斜面を滑走し、吹雪に負けない迫力ある滑りを見せていました。町内選手としては、中学生女子の部で鷗沢小夏さん、小学生5・6学年男子の部で木村勇斗さんの2名が優勝するなど、町内選手10名が入賞する大活躍をしました。

